

# ジェスチャーゲーム Charades (group or class)

グループでする場合(5分程度)、クラスでする場合(10分近くかかるかもしれません)

※「ジェスチャーゲーム」は和製英語です。正しくはcharades「シャレイズ」。

学習する単語は6つ。



sleepy



happy



sad



tired



hungry



good

## グループでする場合

- ①4人のグループになる。  
Make a group of 4.

- ②1人がカードを1枚選ぶ。そこに書かれた感情を演じる。カードは3ページ目  
One picks a card and make a gesture.  
The others answer his or her feeling.

例)

「happy ハッピー うれしい」と書かれたカードを引くと、うれしそうに演技をする。

ニコッと笑って、「うれしい顔」を作るだけでもいいですが、例えば、プレゼントの箱を開ける演技をして笑顔になると、当てる方はプレゼントを開けている様子から、どんな表情になるか予想もできるので、楽しいと思います。



- ③ほかの3人がその感情を表す英語を答える。"Happy!"

- ④カードは元に戻す。次の人がカードを引いてジェスチャーをする。

※2回連続で「happy うれしい」になる可能性もあります。

## 班対抗でクラスでする場合

- ① 1人に1つ, ホワイトボードを与える。
- ② 黒板にhappy, sad, hungry, tired, sleepy, goodと書き, または, 絵カードを貼って意味を確認する。読み方もカタカナで書いておく

慣れてきたようなら, fine, great, hot, cold などから1つ加えることもできると思います。fine, greatは単元の言語材料になっています。ここでは, hot, coldは出てこないのですが、英語は分かりやすいと思います。

- ③ 4人で班を作るが、席は前を向いたままで。  
(机をくっつけると、横の人の答えが見えたり、相談したりできるから。)

まず、1班から1名、前に来てカードを引き、カードに書かれた感情の演技をする。

- ④ クラスの他の人は自分のホワイトボードに、カタカナで答えを書く。  
(ハッピー、サド、スリーピー等)。

- ⑤ “1,2.”で、全員が一斉にホワイトボードを持ち上げる。



- ⑥ HRT(ALT)が、班員の答えを確認する。前から見たら、すぐに確認できます。  
班の全員の答えがあていば、その班には1ポイント。  
全員正解しないとポイントなし。

\*次は2班から1名、前に来てカードを引き、カードにかかれた感情の演技をする  
…以下同じ。

次は3班から1名、4班から1名....一周終わったら、1班の2人目が出題。

One student from "Group 1" comes to the front and picks a card→does a gesture

The students must write in Katakana the English pronunciation of that emotion / feeling.

If all students in group guess it correctly, 1 point for the team.

Happy ハッピー  
うれしい

Hungry ハングリー  
おなかがすいた

Sad サド  
かなしい

Tired タイヤード  
つかれている

Sleepy スリーピー  
ねむい

Good グッド  
いい

Happy ハッピー  
うれしい

Hungry ハングリー  
おなかがすいた

Sad サド  
かなしい

Tired タイヤード  
つかれている

Sleepy スリーピー  
ねむい

Good グッド  
いい

Happy ハッピー  
うれしい

Hungry ハングリー  
おなかがすいた

Sad サド  
かなしい

Tired タイヤード  
つかれている

Sleepy スリーピー  
ねむい

Good グッド  
いい

Happy ハッピー  
うれしい

Hungry ハングリー  
おなかがすいた

Sad サド  
かなしい

Tired タイヤード  
つかれている

Sleepy スリーピー

Good グッド



**Happy**



**Sad**



**Tired**



**Sleepy**



**Hungry**



**Good**